

## 灯油価格急騰に伴う国・北海道への要請行動の報告

20年度はコロナ禍で原油価格の乱高下が激しく、札幌市内78円台(税込)で推移したが、21年度に入り新型コロナワクチンの普及による需要回復から原油価格が上昇し、9月には元売卸価格の値上げにより、店頭小売価格も99円(税込)、直近の北海道の配達灯油の市場価格は、10月13日の資源エネルギー庁の公表によると、18%増の1,823円(1%増当り101.3円)と前年比23円高となり、私たちの暮らしや経済への影響が大きいと判断し、北海道生協連・コープさっぽろでの緊急要請行動を行いました。

10月20日(水)北海道経済産業局要請では、資源エネルギー環境部資源燃料課田口課長に対し、原油価格の見通しや国の対策について「灯油意見交換会」の早期開催を強く求めると共に①寒波等不測の事態における国による価格急騰・在庫不足防止への元売・販売事業者への要請②コロナ禍



北海道経済産業局

での経済的弱者や石油依存度の高い事業者への支援策③地域差による負担感減少に向けた支援④石油製品の税負担の見直し⑤2050年カーボンニュートラル計画議論における北海道の家庭部門のエネルギーシフトに関する消費者の参加の5項目について行いました。



北海道保健福祉部

10月25日(月)北海道保健福祉部地域福祉課岡本課長に対し、生活困窮やコロナ禍で減収となっている母子世帯への「福祉灯油」等の全市町村での実施にむけた財政支援について要請致しました。

要請には、コープさっぽろ吉田組合員活動委員長・櫻木・坪江両副委員長、高口組合員活動部長に同席頂きました。

直後、11月30日(火)北海道経済産業局主催「灯油意見交換会」の開催が決まりましたので消費者の負担軽減に向けた施策について意見を表明してまいります。

## お知らせ！協同組合ネット北海道事務局会議で取組確認Vol.10

11月10日(水)13時～16時 JA北農ビル19階 第6会議室  
事務局団体：JA中央会・ホクレン・コープさっぽろ・労金・漁連・森連・ワーカーズコープ・道生協連 以上8団体。

### <学習会>

「みどりの食料戦略システム」説明会  
※対象：協同組合ネット北海道16団体  
報告者：農水省(環境バイオマス政策課 秋葉課長)

### <協議事項>

#### 1. 共通推進テーマ

- (1)地域社会づくり(社会貢献活動) …… <生協連>
  - 子ども食堂支援関連「食でつながるフェスタほっかいどう」の開催案内
  - ほっかいどう若者応援プロジェクト、下期活動進捗状況報告について
  - ▶上期19大学24キャンパス8,330名の食材等の配付。下期は13大学18キャンパスで5,350名を計画し現在実施中、12月10日で全大学終了の見通し。
  - ワーカーズコープ主体開催のフードパントリーの対応について
  - ▶10月10日(日)に札幌市中央区で実施された概要と今後の考え方について
- (2)環境対策 …… <コープさっぽろ・ホクレン・漁連>
  - 「マイボトルエコアクション」運動への参加について
  - ▶10月1日現在のシールの発行は、約3万4千枚。今後も随時実施。シールの必要な団体は、コープさっぽろに申し込みを。

#### ○植樹活動の参加について

▶コロナ禍の中で、活動が停滞しているが、植樹できる場所がなくなってきており、(道民の森においても新たに植樹する場所がない状況)今後の課題。

#### ○海や川の清掃活動の参加について

▶10月20日(水)、23日(土)の2日間で全道44か所(中止11か所)およそ3,000名が参加。

#### ○第6回SDGs研究会の開催について

▶令和4年2月10日(木)の予定。(WEB開催)

#### (3)災害支援対策 …… <ろうきん>

##### ○災害支援対策について

▶年に1回程度、「北海道災害ボランティアセンター」および「北の国災害サポートチーム」との情報交換会の場を設定する旨の提案があった。

#### 2. 個別推進テーマ

##### (1)公開講演会の開催について(案) …… <ろうきん>

参加申し込み状況等について報告及び、費用按分についての提案がされた。

##### (2)令和3年度

協同組合間学習交流会の開催について …… <JA中央会>開催要領およびカリキュラム及び現時点の参加申し込み助教報告がされた。

#### <その他、報告事項>

##### (1)子どもの貧困対策ネットワーク事業について

##### (2)第29回JA全国大会記念座談会の記事紹介

(3)第1回道庁府県協同組合連携組織担当役員・幹事長会議の開催について



## 海の清掃活動44か所2,841人2,458袋



2021年7月より、コープさっぽろでは「マイボトルエコアクション」を開始しました。

マイボトルを持つことは、ペットボトルなどのプラスチック製品をできるだけ使わないことにつながります。それは、海や川をキレイすることに貢献する、一番カンタンな取り組みかもしれません。海洋プラスチックごみの70%以上が街から河川を経由して海洋へと流出した「街のごみ」です。海洋汚染はかなり深刻な状況です。毎年800万トンのプラスチックごみの海洋流出は世界規模の問題にもなっています。マイボトルを持つことの他に、海や川などの清掃活動も定期的に行っています。第1回目として2021年10月20日・23日に「Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦！」と称して全道44カ所で海岸清掃を行いました。両日は強風と雨に見舞われ、11会場で中止となり44か所の開催となり、合計2,841人でゴミ袋2,458袋回収しました。北海道SDGsプラットフォーム主催（コープ札幌事務局）として、より多くの組合員さんに参加い

ただくとともにお取引様や協同組合、NPO、町内会、高校生、大学生、ボーイスカウト等、163社・団体の協力をいただき、多くのみなさまとプラスチックごみ問題の共有が図られました。終了後のアンケートでは「予測以上のごみで驚いた」との回答が目立ちました。できることから始める、そして北海道の海をみんなでキレイにしていくことを推進していきます。



苫小牧 シカッテイ浜

## 札幌市環境局協働の「フードドライブ」活動報告



こども食堂北海道ネットワーク 松本

札幌市環境局さんより「フードロス削減」「家庭ごみの削減」への啓蒙活動の一つとして市民に向けた「フードドライブ」を行いたいので「こども食堂北海道ネットワーク」として提供された「食材」を活用していく団体として参画依頼がありました。コロナ禍の下、実施が危ぶまれましたが沈静化した10月25日(月)～29日(金)10時～16時で「市役所1階ロビー」にて無事開催されました。こども食堂北海道ネットワークでは折角の機会でもありますのでこども食堂・地域食堂への「認知度」向上に向けたパネル展示、資料展示でコラボレーションをさせて頂きました。約250名前後の市民がご自身の家庭から様々な食材を持ち寄って頂きました。「乾麺」「調味料」「お米」「缶詰」「お菓子」等々、中にはコロナでご商売をやめたのでこれを！と沢山の

「飴」「菓子」をお持ちいただいた方もございましたが多くは10時から15点前後の食材を重たいのも苦にせずお持ち込みを頂きました。

ネットワークではこれらの食材を希望する「子ども食堂」運営団体さんに声掛けし回収にきて頂く様、調整をさせて頂きました。ダンボールに持ちきれないほどの食材を詰め、「あの子にはこれとこれ！あの子にはこっちかな？・・・」と子ども食堂に来る子ども達の顔を思い浮かべながらお持ち帰りを頂きました。今回は札幌市の中心部で開催されましたが市民の皆さんにもっと参加を頂く工夫、各区開催等を考えていきたいですね！と市環境局のご担当様と5日間の労を振り返りながら初の取り組みが無事終了致しました。

